

次号予告

特集 現代感度解析入門：FAST と Sobol' 法を中心として

感度解析について……………香田正人 (筑波大学), 本間俊充 (日本原子力研究開発機構)

FAST 手法による感度解析について……………劉 峭 (日本原子力研究開発機構)

Global 感度解析—Sobol' 法……………本間俊充 (日本原子力研究開発機構)

グローバル感度解析に対するカオス力学系やメタモデルの視点……………香田正人 (筑波大学)

ゆらぎによる制御とその確率感度解析

……………ライブニッツ賢治 (情報通信研究機構), 若宮直紀 (大阪大学)

金融工学における Malliavin 解析を用いた感度計算

……………A. Kohatsu-Higa (大阪大学), 安田和弘 (法政大学)

編集後記

●7月11日, 南アフリカで開催されたサッカーワールドカップ (W杯) は, スペインの初優勝で幕を閉じました。日本代表の16強という結果もあり, 当初の想定以上に盛り上がった方も多いかと思います。

●一方で, 今回のW杯では過去のW杯以上に, 誤審や微妙な判定に揺れた話題が多かった気がしております。試合の流れが非常に速くなり, ボールのスピードも大変上がってきているということもあり, FIFA (国際サッカー連盟) では, 今後審判員を助けるためにライン判定システムなどのITを導入し, これまでとは異なる審判システムの実現に向けた検討をしていくそうです。サッカーや野球, テニスなど, スポーツ

においてもITの進化・導入がその業界のさらなる発展を支えていく一つの要因になっていくかもしれません。

●今回の特集記事では金融トレーディングを取り上げました。研究面や実務導入面など様々な内容を取り上げた中, 近年, 進化・変化が大きい分野であることを感じられたのではないのでしょうか。同時にトレーディングの環境整備が整いつつある一方, 市場に大きな影響を与えるような株の誤発注も発生しています。数理モデルが今後さらに活躍していくためにも, データの正確性, セキュリティ等が十分に確保されたITの進化・導入が期待されるところです。(木村新之介)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 神山直之 (中央大学), 川田丈浩 (日本電信電話(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 小林憲正 (東京工業大学), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 鳥海重喜 (中央大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は, 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成22年9月号 第55巻 第9号 通巻597号

代表者 数 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧 本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円 (本体924円) 年間予約購読料11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ